

## 北海道音更高等学校の行動計画（グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和5年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	各科目で生徒の進路実現に向けた幅広い学習による人材育成を行う。	多様な科目選択を活かし、各生徒が達成感や充実感を得ることができる授業を実施することができた。	今後も継続して指導していく。	5
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	グローカル教育を推進し、農業関連産業への興味関心を高める。	地域の基幹産業や環境についての学習は実施できたが国際的な視野をもてる学習の実践は十分できていなかった。	国際的な視野をもてる人材を育成させていくプログラムを準備していく。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	出前授業を活用し、地域農業に関心を持たせ、農業系への進路選択の幅を広げる。	大学や総合振興局、音更町などと連携し、農業や関連産業の知識を得るとともに、地域産業に関心を持たせる授業を実施することができた。	地域の基幹産業である農業や関連産業に対して関心を高めさせる方法を工夫していく。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	地域を題材にした学習により、農業関連産業や6次産業化に対する知識と意欲を醸成する。	地域の基幹産業である農業や関連産業の実態について理解し、地域資源を活用した新たな価値を想像できる人材を育成できるよう努めることができた。	今後も地域資源を活用し人材育成に努めるとともに6次産業に対する知識を深めさせていく。	5
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	音更町公共施設や道の駅の花壇造成を通じて地域の一員として貢献できる資質を高めさせる。	公共施設の花壇造成により、地域環境の景観づくりや道の駅を活かした学習を行うことができた。	今後も地域関係機関と連携して取り組んでいく。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	町民への開放講座や地域のサークル等と交流を実施し、学習活動のアピールや地域参加を行う。	町民への各種開放講座の開催や交流の実施により、生徒と参加者との交流を図るとともに、学習の様子を町民に知つてもらうことができた。	開放講座を一つのきっかけとして生徒のコミュニケーション力を高めさせていく。	5
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	農業科目の中でICTを用いた学習を取り入れる。	タブレットを活用した授業を心がけているが、より先進的な農業の知識や技術の学習を実践していくことが必要である。	タブレットを活用して先進的な知識技術を調べ、実践に応用できる資質を高めさせていく。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	防災意識を高め、災害時に冷静に行動できるようにする。	危機管理マニュアルの掲示はできたが全員の共通理解までには至っていない。	共通理解を図るために年度初めにマニュアルの確認を十分行っていく。	4